



令和7年 評議会のあいさつ

令和7年6月14日

教育学部同窓会長 臼杵 勇人

皆さんこんにちは、只今紹介にあずかりました同窓会長を仰せつかっております
昭和55年卒、28期の臼杵 勇人と申します。

まずもって、支部長、学科代表の皆様、ご多用の中、県内各地より評議会にご出席、並びにオンラインのズームでの参加をいただき感謝申し上げます。

また、日ごろから同窓会活動の推進に格別のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。本年度は、昨年度の新潟大学創立75周年に続き、全学同窓会の設立20周年の記念すべき年であります。

本日は、大庭教育実践学研究科長様、吉田特任教授様のご臨席賜りました。本当にありがとうございます。

さて、本日は、従来の評議会ではなく、県内各地からオンラインのズームで参加いただく画期的な評議会の開催となりました。本年5月の第1回本部役員会で、令和9年度の教育学部同窓会創立75周年への参加を呼び掛けると同時に支部長、学科代表者の皆様に大勢参加していただける方法を検討した結果、このようなズーム形式にさせていただきました。このように大勢の皆様と直接、間接的に評議会を開催できることを、大変嬉しく思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の評議会は、レジメにもありますように、教育実践学研究生への奨学金贈呈式並びに研究発表を行います。その後、議事として昨年度の事業・活動のまとめと本年度の具体的な活動計画について審議していただきます。

評議会後には支部長会、学科代表者会も予定されていますので、少し長い時間になると予想されますが、年度初めの貴重な会議となりますので慎重審議をお願いいたします。

本年度は、全学同窓会設立20周年、そして令和9年度には教育学部同窓会創立75周年を迎えます。教育学部同窓会でも特設委員会を組織して全学ならびに教育学部の周年事業の成功に向けて計画・準備を進めているところです。支部長、学科代表の皆様、そして会員の皆様からにも積極的に大勢参加していただき、有意義な周年事業にしていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

結びに、本年度も教育学部同窓会の活動を粛々と進めて参りたいと考えておりますが、持続的で充実した運営と各種事業の推進のために、ご参会の皆様からの更なるご支援とご協力をお願いして開会の挨拶といたします。

<追伸> 議長を務めていただきました佐藤昌寿様、ズーム担当をしていただきました長谷川拓海様に心より御礼を申し上げます。